



第1516回例会報告

平成29年 8月 3日 (木) 晴れ

会長挨拶

会長 高山 巖

☆幹事報告

【報告事項】

今週はありませんでした。

今宵は、夜間家族納涼例会です。イアン・ライズリーRI会長は「組織にとって楽しさは不可欠な要素である」と強調しています。ロータリー精



神の“いいとこ”だけを都合良く解釈するわけではありませんが、吉澤委員長さん始め、クラブ奉仕委員会の皆さんの素晴らしい企画に乗って、まずは今宵楽しく〜宮下悦子、宮下大樹親子さんが奏でる、琴とフルートのアンサンブル演奏に琴線を振るわせ、ミラノ・サローネアネックス選りすぐりの料理と美酒に酔いしれて、大いに懇親を深めましょう。

☆納涼例会☆

クラブ奉仕委員会



ロータリーソングも高らかに♪



琴とフルートの美しい調べに魅了されました



河西直前会長から「乾杯！」

楽しい語らいのひと時が始まりました。



手に手、輪に輪 皆さんの歌声と共に

北原エレクトの万歳三唱

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	37人	7名	23,000円	☆宮下親子のコンサートをお聴きください 大澤邦彦 ☆会長になって初めてのイベントです。クラブ奉仕の皆さんを始め多くの方の世話になります。ありがとうございます。 高山 巖
出席対象	37人	累計	65,000円	
出席者数	28人	目標額	60万円	
出席率	75.7%	達成率	10.8%	
前回修正	86.5%			



諏訪湖クリーン祭り ～子供たちと湖上観察～ 社会奉仕委員会 田中委員長

8月11日今日の天気は？そう思いつつ眠い目をこすりながら玄関を出た。今日は湖上観察の日である。見上げた山の頂は見えない、雨が降りそうな雲が山沿いを覆っていた。急ぎ支度を整え「あ、忘れ物」相変わらずである。再度引き返し、小物の入ったリュックをもって出発した。もう6時20分だ、萩田さんの顔が浮かぶ、社会奉仕委員会が遅れては一大事、30分直前に赤砂先防災公園予定地に滑り込んだ、おお、すでに船着き場の前にテントが見える、2人の人影、萩田さんだ、よかったまだ他にはいない様だ。おはようと言いながら、何から始めようか説明を聞いていると、途端にひとが増えた、ロータリーの面々が続々やってきた。

初めて作ったのぼり旗はなかなかの出来栄えにみえた。雨も午前中はなんとなりそうである。のぼり旗を立て受付の準備に入った、計画は第1便が8時出港、2便8時45分3便9時30分である。今日は下諏訪のクリーン祭りの日である、これに協賛してロータリーも森山会員の協力のもと、子供たち父兄を遊覧船「白鳥丸」で諏訪湖上から観察体験をしてもらう企画だ。会場には10張り以上のテントが立ち並び本部をはじめ、生ごみ堆肥、生活クラブ、消費者の会、漁業試験場、ボートクラブなどなど各団体が我こそは、来客者を確保し、日々の活動をアピールしようと意気込んでいるようだ。

開会式が始まった。ぽつぽつと「白鳥丸」の申込者がいり始めた。1回50人定員だ、「定員に達しなかったらどうしよう」との声が聞こえる。どうしようとも思った。申込中、「船に乗れます」「無料」とすぐ張り紙を読みにくい手書きで書いてはりだした。

「集計お願いします」長崎さんは快く引き受けてくれた、船はまだかと棧橋を見たらすぐにやってきた、萩田さんがマイクで呼びかけてくれた。無料のポップコーンを確保して帰ってきたら両側の受付机に親子ずれが申込をしていた、続々とやってくる、「50人超えた」誰かの声がした。8時の出港だがまだ出港できない、気をもんでいるとやっと8時15分に出港だ、手を振り送り出した。受け付けは順調だ、すでに2便も満席、3便も満席は近いだろう。クリーン祭りの会場を1周してきた、無料のスコーンもうまい、ジュースもうまい。

「白鳥丸」が8時45分になっても帰ってこない、湖上を見るとまだ遠くにいる、電話をかけてもらったが遅れそうだ。しばらくしてやっと帰ってきた下船した乗客たちは嬉しそうだ、大成功と言える。2便の出港は9時を過ぎてしまった、3便の人たちがあきらめてしまわないか心配になってきた。2便がさらに遅れた理由にスタンプラリーの抽選があった。祭りの片づけが始まった。何とか、10時前までには帰ってきてくれと祈った。結局3便は10時ころの出港となってしまったクリーン祭りは終わりかけていた。

地上部隊のロータリーのメンバーの片づけの対応は完璧だ。好評だった旗などの片付けもすぐに完了し木陰で3便の帰港を待つこととした。10時30分過ぎに帰港した、乗客たちの満足そうな顔を見て、メンバーも満足そうに思えた。

高山会長の閉会式を湖畔の木陰で行った、「ハラハラドキドキだったが、次回の10月に生かしたい」萩田青少年奉仕委員長の言葉がすべてを表していた。

